

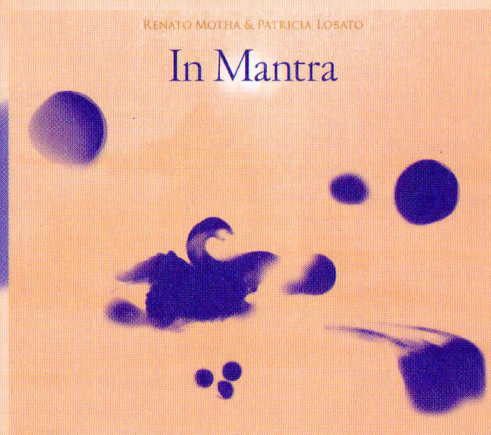
RENATO MOTH & PATRICIA LOBATO "IN MANTRA"

ヘナート・モタ & パトリシア・ロバート 「イン・マントラ」

吸いこむ、音楽。

マントラが呼びおこす、ゆらぎと旋律による21世紀のアンサンブル。

新曲を多数収録、キャリアの最高到達点をとらえたライブ・レコーディング作品。



1. Ong Namô 2. Ad Gurê Namê
3. Mul Mantra 4. Rakhe Rakhan Haar
5. Ang Sang Wahe Guru 6. Wahe Guru Wahe Jio 7. Guru Ram Das
8. Sar Narayan 9. Ek Ong Kar Sat Gur Prasad 10. Suft Kundalini Mantras

ヘナート・モタ / vocal, guitar パトリシア・ロバート / vocal, tabla, ganza
沢田穰治 (ショーロクラブ) / contrabass ヨシダダイキチ / sitar

2010.9.8 release

¥2,600 (tax in) / NKCD-1001 / 発売元: NRT/maritmo株式会社 / 販売元: バウンディ株式会社

天上の音楽と呼ぶものがあるとしたら、今、聞いているのがそれかもしれない、とさえ思えた。
時にそれはアイルランドの音楽のように聞こえたり、クラシックの教会音楽のように聞こえたり、あるいはイスラミックな響きを覗かせたりと、時空を超えたスケールを感じさせるものだったからだ。

アルバムの録音状態も本当に素晴らしい。さらに驚異的なのは、スタジオ盤と変わらぬ精度を保った、ヘナート & パトリシアの歌と演奏の上手さで、録音を聞くことによって、あらためて、二人のミュージシャンシップの高さに唖らされてしまった。

しかし一方では、そんな予備知識なしに聞いても、この音楽の美しさはたやすく伝わるものではないかとも思う。実際、当日の会場にはコアなブラジル音楽ファンばかりでなく、様々な人々がいた。誰もが静かに聞き入って、柔らかな幸福感に満ちた時間を共有していた。

どこにも属さないがゆえに、誰でも、何かしら感じるものがある。そんな音楽があるとしたら、ヘナート・モタ & パトリシア・ロバートのこの音楽こそ、それではないかと思う。

——高橋健太郎 (ライナーノーツより抜粋)

デュオ通算6作目となる本作は、自身初のライブ・レコーディング作品。インドの聖句<マントラ>にオリジナルのメロディをのせ、演奏した内容で、新曲も5曲収録。共演にショーロクラブの沢田穰治 (contrabass)、UAのプロデューサーで知られるヨシダダイキチ (sitar)を迎え、既発曲も全く新たに生まれ変わった。

同コンセプトの前作『サウンス: 平和のための揺らぎ』は「東京のほとんどのヨガスタジオに置いてある。ヨガで一枚のアルバムが有名になることは珍しい(ソトコト誌)」と、さまざまなシーンで注目を集める二人。これまでの音楽的成果と、現代に生きる感性が結実した、キャリアの最高傑作を生み出した。

www.nrt.jp

RENATO MOTH & PATRICIA LOBATO JAPAN TOUR 2010 "IN MANTRA"

ヘナート・モタ & パトリシア・ロバート ジャパン・ツアー 2010 「イン・マントラ」

最高傑作『イン・マントラ』発表直後、奇跡の日本ツアーが再度実現。

東京アンダーグラウンドの名手たちを迎えたマントラ・セッション3公演に、

デュオ編成によるオリジナル曲中心の地方都市2公演。

ブラジル、ヨガ、教会音楽——柔らかな幸福感に満ちた21世紀の詩的体験。



10/30 (土)

山形 文翔館議場ホール

14:30 開場 / 15:30 開演

10/31 (日)

鎌倉 浄土宗大本山 光明寺 大殿 (本堂)

13:30 開場 / 14:00 開演

11/2 (火)

福岡 アクロス福岡・円形ホール

18:30 開場 / 19:00 開演

11/6 (土)

東京 表参道 EATS and MEETS Cay

1st 15:00 開場 / 16:00 開演

2nd 18:30 開場 / 19:30 開演

NRT maritmo